



学校通信

令和6年 1月9日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第10号)

新しい年 辰年に向けて

校長 岩下 桂郎

この度の地震被害に謹んでお見舞いを申し上げます。被災された方はもちろん、本校でも北陸に縁のある方やお知り合いがいらっしゃる方は、特に心配な日々を送られていると思います。一日も早く平穏な生活に戻られますことをお祈り申し上げます。

大変な中での元旦となりましたが、幼児・児童・生徒が大きく体調を崩したり、校舎に影響したりすることなく、新学期を迎えることができました。どうぞ、今年もよろしく願っています。

令和5年の干支であるうさぎ年は、その跳ねる姿から飛躍の年とされていました。そのなかでも、スポーツの世界において多くの日本チームの活躍したことは記憶に新しいところです。特に3月に行われたワールドベースボールクラシックは多くの人々の感動を呼び、年末のテレビ番組でも繰り返し取り上げられていました。

その日本チームの中心でもあった大谷翔平選手から、「野球やろうぜ！」のメッセージと一緒にサイン入りの貴重なグローブを寄贈していただきました。偉大な選手と同じグローブを実際に手にすることで、野球はもちろんスポーツを好きになる子供たちが増えることを楽しみにしています。

そして、令和6年は辰年です。唯一、架空の生き物である龍を表し、時代を動かす「変革(転機)」や「激動」の年とされています。災害や世界で起きている紛争、環境問題など社会的な不安もありますが、生きる力を身に付け、地域で自立した生活を送れるよう、継続して指導してまいります。幼児・児童・生徒のみなさんも新しい年を迎えるにあたって、「こんなことやりたい」、「こうなりたい」という願いをもとに、今年目標を立て、積極的に新しい挑戦に取り組んでいきましょう。

お休みをいただいている近藤副校長ですが、3月中旬までお休みすることとなりました。幼児・児童・生徒、保護者の皆様にはご心配をおかけしますが、御理解ください。

「小学部 書道体験」

12月11日に外部から講師の先生をお招きして、小学部で書道体験をしました。初めての「書道」にわくわくしている1年生や昨年度のことを覚えている上級生もいて、賑やかに始まりました。

最初に、大きな筆の感触や、墨汁の香り、和紙の大きさなどを確かめました。今回のテーマは、今年の干支「辰(たつ)」です。漢字・ひらがな・龍の体やうろこなど、表現したいものを決めて一人ずつ取り組みました。自分の身長ほどもある長い大きい和紙に、太くて大きい筆をしっかりとって力強く書きました。

最後はみんなで共同作品に挑戦！
龍の長い体に、思い思いのうろこの形を書いて仕上げました。

2024年が良い年になりますように！

(小学部 高田)

